

## ～中世

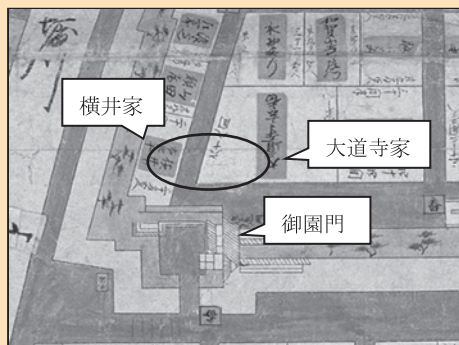
愛知県図書館の着工に先立って行われた昭和 63(1988)年の発掘調査では、弥生時代の竪穴住居や土器、古墳時代の方墳や土師器、平安時代に食器として使われていた灰釉陶器などが発掘されています。



灰釉双耳瓶(※)

## 江戸時代

愛知県図書館のある三の丸は名古屋城の外堀に守られ、尾張藩の重臣たちの屋敷があった場所です。図書館のあたりは「御園門」に近く、享保14(1729)年の『名護屋絵図』によると、横井家、大道寺家の屋敷がありました。(愛知県図書館 HP 内「絵図の世界」の城下重ね図では、現在と江戸時代の地図を比較することができます。)



『享保十四酉年名護屋絵図』(当館蔵、部分)  
(○印が現在の愛知県図書館の位置)

## 明治・大正

明治維新後、三の丸にあった旧名古屋藩士邸宅は取り壊されました。明治6(1873)年には御園門も撤去され、明治7(1874)年に三の丸全体が陸軍省へ移管されました。御園門の樹形も明治42(1909)年に撤去されたとのことです。



『名古屋市新地図(大正 6(1917)年)』  
(駸々堂旅行案内内部発行 部分)  
(○印が現在の愛知県図書館の位置)

## 昭和

名古屋城三の丸を回る土塁や堀は、昭和27(1952)年、本丸・二の丸などとともに「特別史跡 名古屋城跡」に指定されました。昭和33(1958)年には、名古屋米国領事館が新築されました。開館式にはダグラス・マッカーサー2世駐日アメリカ大使も出席したと当時の新聞にあります。日本趣味を取り入れた瀟洒な建物でしたが、昭和45(1970)年に閉鎖されました。

悠久の歴史  
がしのぼれ  
ますな